

## 第55回全日本官公庁剣道大会試合結果を振り返り (手記) 理事長谷口

団体戦決勝は、甲府刑務所対警視庁となった。



甲府刑務所は、一回戦から記すと埼玉県庁、横浜刑務所、東日本成人矯正医療センター、市原刑務所、宮城刑務所、岐阜刑務所(本数勝)を接戦が多い中で決勝進出した。一方、警視庁は二回戦で海自佐世保、千葉刑務所、福岡刑務所、準々決勝で東京拘置所、準決勝で府中刑務所を下し圧倒的強さを見せての決勝進出であった。

結果は、対戦表のとおりであるが試合内容を記載する。

○先鋒戦中田(甲府刑務所)対秋田(警視庁)は、序盤に中田のメンに対し秋田の突きがほぼ同時に技を出しヒヤリとした一瞬があった。その後も果敢に攻め鋭い技を出す秋田から中田の面返し胴に赤旗が上がり一本勝となる。(写真右、後に胴を決める)



○次鋒戦は、坂本(甲府刑務所)対渡邊(警視庁)は、坂本がメンで先取るも二本目始まり渡邊がメンで返し勝負となる。ややあって坂本が飛び込みメンを決め次鋒戦を制し、チーム対戦 2 対0と有利に駒を進めた。



1本目(赤)坂本のメンが決まる。 2本目開始後(白)渡邊のメンが決まる。 3本目、再び(赤)坂本の飛び込みメンが決まる。

○中堅戦は、吉川(甲府刑務所)对上条(警視庁)の対戦、此の一戦は、勝敗の分かれ目となる。1本目鋭いメンにきわどくも返し胴に応じた吉川(赤)に旗が上がる。2本目(白) 上条が小手を決め1対1となり時間となり引分となる。



1本目吉川(赤)に旗が上がる。



2本目(白) 上条が小手を決める。



1本目(赤)の飛込みドウに対し(白・左)メンを決める。

○副将戦、上段の長尾対椋梨は、手に汗する試合となる。長尾の上段からの飛込みドウに素早くメンに応じた(白)椋梨ニ旗が上がり一本先取する。時間となり警視庁が1勝を返しチーム対戦2対1となる。



○大将戦、山口対平山は、果敢に面技で攻める(白)平山に対し出小手でけん制する長身山口の対戦となる。尚も、果敢に攻める平山のメンに山口の出小手が決まり一本先取した。やや消極的になったか(赤)山口に反則1回を宣告される。警視庁が代表戦に持込むには二本勝しか無くなったが、攻防・打合が続くなか時間となり両チームの素晴らしい試合が幕を閉じ甲府刑務所の初優勝が決定した。

また、最優秀選手賞には、どの選手も甲乙つけがたいが次鋒の坂本選手、大将の山口選手が最終候補となり全試合の戦績から坂本選手4勝2分け、山口選手4勝1分け1敗も加味して決勝戦で優勝に大きく貢献した坂本選手に決定した。最後に、甲府刑務所初優勝、6回目の優勝にあと一歩となった警視庁、上位入賞の常連チームに加え、陸自国分や四回戦進出と善戦をした川口市役所、小山市役所他全てにエールをおくる。

○次に、個人戦男子においても、決勝戦、警視庁阿部選手と川口市役所茂田選手の対戦は、延長戦の末に阿部選手がメンを決め優勝した。ベスト8敢闘賞の中には、今回初出場の団体・選手もあり今後の大会が楽しみである。

○個人戦女子決勝においては、警視庁同志の対戦となる。木宮選手対永井選手の対戦は延長の末、永井選手がドウを決め優勝した。

以上